

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 4 年 11 月 15 日

設置・運営主体	春日部市		
設置主体	春日部市		
経営主体	春日部市		
事業所名 (施設名)	春日部市立庄和第2保育所	種別	保育所
所在地	〒 344-0114 春日部市東中野1152番地		
電話	048-746-5221		
FAX	048-746-5221		
Email	<a href="mailto:hoiku02@city.kasukabe.lg.jp">hoiku02@city.kasukabe.lg.jp</a>		
URL			
施設長氏名	伊藤 美由紀		
調査対応担当者	伊藤 美由紀 (所属、職名：春日部市立庄和第2保育所 所長)		
利用定員	90名	開設年	昭和 50 年 6 月 1 日
理念・基本方針	<p>保育理念 一人ひとりの子どもに寄り添い、家庭や地域の人々と協力し合って、豊かな人間性を持った子どもを育成します。</p> <p>保育目標 明るく元気な子 思いやりのある子 自分で考えて行動できる子</p> <p>保育方針  (1) 心身共に健康に、安全で安定して過ごすことのできる環境の中で楽しく活動します。  (2) 地域の人や異年齢・異文化の様々な関わりを通して一緒に遊ぶ楽しさを経験しながら、優しい心を育みます。  (3) 自然や身の回りの様々なものを遊びに取り入れ、物を大切にすることや生命の尊さに気づける経験を重ねていきます。  (4) 「おもしろい」「やってみたい」という気持ちを大切に、意欲的に様々な活動に取り組む中で、自己を十分に発揮する力を育みます。  (5) 言葉への興味や関心を育て、豊かな心・思考力・表現力の基礎を培います。  (6) 一人ひとりを大切に、個性や個人差に配慮した保育を行います。  (7) 地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行います。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	7時～19時		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	0	0	0		0
1歳児	12	9	1		3
2歳児	12	10	1		2
3歳児	20	13	1		2
4歳児	23	12	1		1
5歳児	23	17	1		1
計	90	61	5	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		16人	
うち	保育士	14人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	0人	その他（委託調理員） 2人
非常勤職員数		4人（常勤換算	1.2人）
うち	保育士	1人（常勤換算	0.3人）
	保健師・看護師	0人（常勤換算	0人）
	栄養士・調理員	委託調理員 1人（常勤換算	0.3人）
	その他（委託用務員）	2人（常勤換算	0.6人）
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 0人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		49歳	(49歳)
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		18.7年	(18.7年)
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

**【本来事業に併設して行っている事業】**

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	0
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育	○	1,700円(食事なし) 2,000円(食事あり)
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

**【ボランティア等の受け入れに関する事項】**

・令和 3 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0 人

・ボランティアの業務

--

**【実習生の受け入れ】**

・令和 3 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 保育士 3 人

看護師 4 人

### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	539.9 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり 6 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	390 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり 4.3 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和 50年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

<p>・朝夕の送迎時に保育所での様子を伝えたり、ご家庭での様子や困っていることを伺ったりすることで保護者の方とコミュニケーションをとることを大切にしています。コロナ禍、テラスでの送迎で短い時間ではありますが、担任はもちろんのこと、保育所の全職員が保護者の思いに寄り添えるような雰囲気づくりを心がけています。</p> <p>・コロナ禍で保育室に入れにくいこと、行事の縮小や保育士体験等の事業もないため、子どもの様子が分からない、という声が聞かれます。そのため、クラスでの活動の様子を写真掲示しています。写真があることで、保護者の目にも止まりやすく、子どもの様子を伝えあう糸口にもなっています。</p> <p>・保育所のしおり(重要事項説明書)に苦情窓口設置についての案内を掲載し、年度初めの懇談会で周知しています。</p> <p>・コロナ禍において、11月に希望者対象に個別懇談を実施しています。(年長児は就学時健診前の9月に実施)場所や時間、プライバシーに配慮した上で保護者の思いを傾聴し、職員にも学びとなる懇談となるよう努めています。</p>
--

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・各保育室から見渡せる所庭で、好きな遊びを見つけ楽しむことができます。保育所の外には、5歳児はもちろんのこと1歳児まで散歩に行くことができる距離に東中野ふれあい公園があります。たくさんの緑に囲まれた広い公園を元気に走り回ったり、山の上り下りを楽しんだりできる環境に恵まれ、散歩を楽しんでいます。散歩には飼育ケースや虫取り網を持参し、虫探しが始まります。捕まえた虫を保育所に持ち帰り自慢げに見せている以上児、それをのぞき込んでいる未満児、と異年齢児との交流も見られます。

・保育テーマは「体づくり～みんなでつけよう手足の力～」というテーマを掲げ、4期（1期4～6月歩く・走る、2期7～9月跳ぶ・握る、3期10～12月バランス・平衡感覚、4期1～3月投げ・蹴る）に分けて各クラスが年齢に合わせた活動を取り入れているところです。活動の取り組みを、運動会の種目に入れ込んでみたり、様子を写真と解説でわかりやすく掲示にしたり、工夫を凝らして情報発信をしているところです。1年間の取り組みを通して、子ども達が体を動かすことが楽しいと思えること、けがをしない体をつくることを目指しています。

・コロナ前は、入所児童の祖父母を対象にしたものや地域のデイサービスを訪問しての世代間交流を行っていました。手遊びやふれあい遊び、運動会の遊戯を披露したり、デイサービス利用者の方とゲームを楽しんだり、喜んでいただいていた。コロナ禍となり中止となっていますが、デイサービス利用者の方から手づくりのポスターをいただき、子ども達が作ったペンダントをプレゼントする、という出来る範囲の交流は続けています。地域とのつながりを保ちながら、今後の交流につなげたいと考えています。

・1月には5歳児が干支の絵を描いたものを大風保存会の方に縦90cm×横60cmの大きな凧に仕上げてください、庄和第1保育所の5歳児と合同で大風揚げを行っています。（昨年度はコロナのため中止）これは春日部市の中でも、庄和地区ならではの取り組みで、子ども達にとっても地域の伝統を知る貴重な機会となっています。

## 【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 年度）